

TEX の使用方法について

野田慧太郎

2024 年 2 月 16 日

目次

1	はじめに	ii
2	文書の作り方	ii
3	これは最初の節	ii
3.1	これは最初の節の最初の行	ii
4	これは次の節	ii
5	数式を書くぞー！	iii
5.1	テキスト用数式モード (インライン数式モード)	iii
5.2	ディスプレイ用数式モード	iii
5.2.1	プレーン	iii
5.2.2	式番あり	iii
5.2.3	複数行の数式	iii
5.2.4	複数行の数式 (式番なし)	iii
6	表 DAZE ☆	iv
6.1	表 1DAZE ☆	iv
6.2	表 2DAZE ☆	iv
6.3	表 3DZE ☆	iv
7	図を入れてみた	v
7.1	図 1 だドン	v
7.2	歪んだ図 2 だドン	vi
8	箇条書きを使ってみた	vii

1 はじめに

これは \TeX の文書の例です。

行を変える時には、このように **1 行空白の行が必要**です。数式も書いてみましょう。

$$S = \int_a^b f(x)dx$$

2 文書の作り方

章や節の番号は自動的に振り分けられる。下に例を示す。

3 これは最初の節

3.1 これは最初の節の最初の行

4 これは次の節

`title`, `author`, `date` 命令で（プリアンブルに書く！）文書のタイトル、著者、日付などを設定して、`maketitle` 命令で出力できるぞ！

（`date` コマンドはなくしても意味がないので、`date` とする必要がある。）

5 数式を書くぞーー！

5.1 テキスト用数式モード (インライン数式モード)

文章中に $S = a + b$ という形で混ざって出力されます。

積分記号 $\int_a^b f(x)dx$ や和は $\sum_{i=0}^{10} x_i$ は行間隔を乱さないように狭く出力されます。

5.2 ディスプレイ用数式モード

5.2.1 プレーン

文章とは独立してこのように

$$\int_a^b f(x)dx$$

出力されます。

5.2.2 式番あり

文章とは独立してこのように

$$\int_a^b f(x)dx \tag{1}$$

出力されます。

5.2.3 複数行の数式

複数行にわたる数式もこの通り。

$$\begin{aligned} F(x) &= \int_{-\infty}^x f(\zeta)d\zeta \\ &= \log |\tan(x) + 1| \end{aligned} \tag{2}$$

(3)

5.2.4 複数行の数式 (式番なし)

複数行にわたる数式もこの通り。

$$\begin{aligned} F(x) &= \int_{-\infty}^x f(\zeta)d\zeta \\ &= \log |\tan(x) + 1| \end{aligned}$$

6 表 DAZE ☆

6.1 表 1DAZE ☆

月	別名	よみがな
1 月	睦月	むつき
2 月	如月	きさらぎ
3 月	弥生	やよい
4 月	卯月	うづき

6.2 表 2DAZE ☆

試料	条件		備考
	温度	圧力	
1	10	3	ちょっと悪い
1	20	6	結構いい
3	40	1	かなり悪い

6.3 表 3DZE ☆

表 1 月の別名

月	別名	読み仮名
1 月	睦月	むつき
2 月	如月	きさらぎ

日本では、表 1 に示すように月の別名が定められていて、よく用いられます。

7 図を入れてみた

7.1 図1だドン

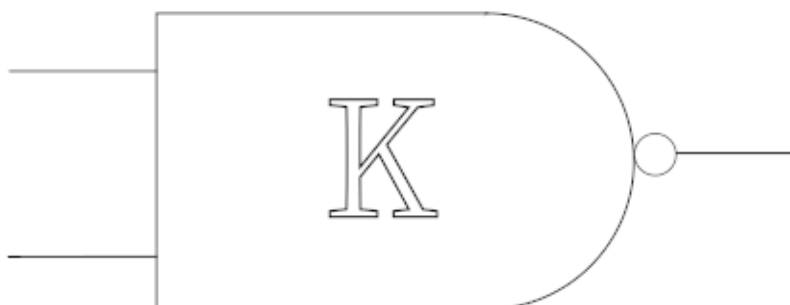


図1 NANDK アイコン

7.2 歪んだ図2だドン



図2 歪んだ NANDK アイコン

8 箇条書きを使ってみた

- 最初の項目
- 次の項目

1. 最初の項目

- (a) 入れ子の最初
- (b) 入れ子の二番目

2. もとの二番目

見出し付き箇条書き

見出し 見出しの説明

次の見出し 次の見出しの説明

見出しが長い場合 何となく不揃い